

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2006-40894(P2006-40894A)

【公開日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-006

【出願番号】特願2005-210982(P2005-210982)

【国際特許分類】

H 0 1 J 35/10 (2006.01)

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 2 1 K 5/02 (2006.01)

G 2 1 K 5/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 35/10 N

A 6 1 B 6/03 3 2 0 C

G 2 1 K 5/02 X

G 2 1 K 5/08 C

G 2 1 K 5/08 X

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

また、アノード軸方向における焦点変位は、CTシステムの作動中に最小限にすべきであることがさらに要求される。しかしながら、システム及び他のアノード関連構成要素の熱膨張は、ターゲットの位置を変化させ、従って焦点の位置を変化させる原因となる可能性がある。この焦点変位は、CTシステムの性能に悪影響を与えるおそれがある。

【特許文献1】米国特許出願公開第2005/0243969号